

佐鳴台地区社協だより

社協だより第122号
2017年9月30日
佐鳴台地区社会福祉協議会
Tel 053-447-7477

戦中・戦後の市民・子どもたちのくらしがどんなであったか

聞いてみましょう

小学校の5, 6年生と中学校1年生の皆さんへ

佐鳴台社会福祉協議会会長 橋本博行

二学期も一か月過ぎ、皆さんそれぞれに勉強に一生懸命に取り組んでいることと思います。

さて、佐鳴台社会福祉協議会では、この度、第二次世界大戦の末期から戦後の厳しい時代をどのようにして市民が乗り切ってきたかをお話して下さる方を浜松市復興記念会館より紹介していただきました。講師の野口順平さんは、浜松市の学校サポートバンクとして、市内の小中学校によく頼まれて戦中戦後のお話に行っています。お忙しい野口さんをお願いして佐鳴台に来ていただけるようになりました。

浜松市は、1945年6月18日の浜松大空襲をはじめとして27回にもわたって戦災にあいました。1944年には浜松の人口は、18万人余でしたが、終戦の1945年には8万人になってしまうほどでした。浜松市の70%が全焼して焼け野原となってしまいました。そんな時の様子をお話してくれます。

戦災にあった都市では、住むところがなく、着の身着のままの状態、食べるものすらろくにない時代でした。あなたたちと同じ年の人たちがその中でどのように生きてきたかを聞いて、「互いに助け合ったり、支え合ったり、励まし合ったりすることなど「人々の心の温かさ」を感じてもらえたらと………と同時に戦争のむごさを感じてもらえたらと………と思います。

また、中学生（当時5年制）でありながら、学校で勉強しないで、近くの工場に働きに行ったお話や戦災でなくなってしまった学校ではどのような勉強をしていたかのお話も聞けるとと思います。

下記のように開きますので、申込用紙に記入し、クラスの先生に提出してください。

記

1. 開催日時 10月29日（日）10:00～11:20
2. 開催会場 佐鳴台協働センターホール
3. 申込み先 小中学校学級担任の先生へ
4. 締め切り 10月6日（月）まで
5. 持ち物 筆記用具と水筒
6. 問い合わせ 佐鳴台社会福祉協議会 事務局 織田晴義 Tel 489-4538

※ 参加者が多い時は、日を改めて第2回目を設けます。

キ リ ト リ

戦中・戦後の市民・子どもたちのくらし申込書

学 年	氏 名

※ 保護者で参加を希望される方は、氏名の前に◎をつけてください。